

社 会

(1) 評価方法

- ①授業観察（グループワーク、発言等） ②提出物（ワーク・ファイル等） ③単元ふりかえりシート
④レポート ⑤小テスト ⑥定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標		社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。						
学習活動 観 点		① 授業 観察	② 提出 物	③ 単元 ふりか えりシ ート	④ レポ ート	⑤ 小テ スト	⑥ 定期 考査	指導の重点や評価するに当たって重視する事柄
知識及び 技能	知識・技能				○	○	◎	・基礎的な知識を身につけさせ、その成果を評価する。 ・資料から情報を得たり、資料をもとにまとめることができているか評価する。
思考力・ 判断力・ 表現力等	思考・判断・表現	△	○	○	○	△	◎	・既習事項を基に、問いに対して考え自分の考えを適切に表現できているか評価する。 ・既習事項の知識をどのように活用すべきか、指導する。
学びに 向かう力・ 人間性等	主体的に学習に取り組む態度	△	○	○	△	△	△	・知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力を高めるための取り組みの内容や様子を評価する。
	感性・ 思いやり	個人内評価						各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況など

(3) 評価規準

【知識・技能】

- ・各単元の特色を踏まえて理解している。
- ・諸資料から得た情報を活用している。

【思考・判断・表現】

- ・各単元の特色を、多面的多角的に考察し、表現している。
- ・様々な諸課題について、公正に判断したり、思考・判断したことを説明したりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・各単元に関する課題を、主体的に追究、解決しようとしている。
- ・各単元に関する学習を、粘り強く取り組もうとしている。